

県スポ だより NAGANO

スポーツくじ



県スポだよりはスポーツ振興くじの助成を受けて発行しています。



私たちは、「スポハラ」のないスポーツ界を目指します。



スポーツ安全保険

倉坪克拓選手

(長野県競技力向上対策本部)



ミラノ・コルティナ
2026冬季オリンピック
日本代表おめでとう！

CONTENTS

- ・第80回国民スポーツ大会冬季大会 2
スケート競技会・アイスホッケー競技会
大会概要・長野県選手団名簿
- ・ミラノ・コルティナ2026冬季オリンピック出場 3
長野県関係選手〈速報〉
- ・会議報告 3
第2回体力向上・スポーツ医科学専門委員会 他
- ・信州やまなみ国スポ・全障スポニュース 4~5
- ・企業訪問 5
- ・事業報告 6
令和7年度指導者ミーティング
北信越ブロッククラブネットワークアクション2025
- ・SWANプロジェクト 7
17期生開講式・記念講演／アルペンミニキャンプ
- ・スポーツ少年団 7
エンジョイ！バレーボールフェスティバル2025
- ・加盟団体の紹介（長野県バドミントン協会） 8

「県スポだより」は、
本会ホームページでも
ご覧いただけます。



<http://www.nagano-sports.or.jp/tayori/index.html>

令和8年(2026年)
1月31日発行

第320号

第80回 国民スポーツ大会 冬季大会

スケート競技会・アイスホッケー競技会

大会概要及び本部役員

1 会 期 2026年1月31日(土)～2月8日(日)

2 会 場 地 青森県八戸市、三沢市

3 日程と会場 ◎開始式・表彰式 ○競技日

会場地		式典・競技		日 程								会 場	
				1月 31 土	1日	2月	3火	4水	5木	6金	7土		
八戸市	開 始 式	午前										SG GROUPホールはちのへ	
	表 彰 式									午後		YSアリーナ八戸	
三沢市	ス ケ ー ト	ス ピ ード					○	○	○	○		YSアリーナ八戸	
		ショートトラック	○	○								三沢アイスアリーナ	
八戸市	アイスホッケー	フィギュア	○	○	○	午前						FLAT HACHINOHE	
							○	○	○	○	○	テクノアイスパーク八戸	
三沢市							○	○	○	○	○	FLAT HACHINOHE	
							○	○				三沢アイスアリーナ	

4 役員・監督・選手数

(単位:人)

項 目	役員	監督	選 手			トレーナー・ サポート員・ 支援コーチ	合 計
			男	女	計		
本 部 役 員	29						29
ス ケー ト	ス ピ ード	4	16	16	32	6	42
	ショートトラック	2	6	7	13	1(2)	16(17)
	フィギュア						
アイスホッケー		1	16		16	3	20
	合 計	29	7	38	23	61	107(108)

ショートトラック支援コーチ1名は選手兼任

5 本部役員

役職名	氏 名	所 属
団 長	林 泰章	長野県スケート連盟名誉会長 (公財)長野県スポーツ協会副会長
副 団 長	菊池 毅彦	長野県スケート連盟副会長
〃	中村 慎	長野県アイスホッケー連盟会長
総 監 督	山岸 文典	長野県スケート連盟理事長
顧 問	碓井 稔	(公財)長野県スポーツ協会理事長
〃	中村 宏平	(公財)長野県スポーツ協会専務理事
〃	高橋 寿明	(公財)長野県スポーツ協会参与 長野県観光スポーツ部長
〃	北島 隆英	(公財)長野県スポーツ協会参与 長野県国スポ・全陸スポ大会局長
〃	井澤 克行	(公財)長野県スポーツ協会常務理事 長野県観光スポーツ部スポーツ振興課長
〃	土屋龍一郎	長野県スケート連盟副会長
〃	今村 俊明	長野県スケート連盟副会長
〃	牛山 貴広	長野県スケート連盟副会長
〃	上原 健治	長野県アイスホッケー連盟副会長
ス ポー ツ ド ク タ ー	本林 光雄	長野県JSPO公認スポーツドクター協議会 (地方独立行政法人長野県立病院機構 長野県立こども病院)
	山本 亮	長野県JSPO公認スポーツドクター協議会 (JA長野厚生連 佐久総合病院 佐久医療センター)
総 務	堀内 光晴	(公財)長野県スポーツ協会事務局長
〃	小林 幸良	長野県スケート連盟事務局次長
他12名		

監督・選手／トレーナー・サポート員・支援コーチ

◇監督

1 スピードスケート

監督4名 選手32名(男16名 女16名)計36名

成年男子

◇野明 弘幸 下諏訪向陽高校(教)

<500m/2000mリレー>

山中 大地 (株)電算

<500m/1000m/2000mリレー>

高見澤匠牙 専修大学3年

<1000m補/1500m/2000mリレー>

伊藤 誠悟 長野県競技力向上対策本部

<500m補/1000m/2000mリレー>

井出 雄斗 専修大学4年

<1500m/2000mリレー>

菊原 颯 明治大学3年

<5000m補>

今井 寛人 日本体育大学4年

<5000m/2000mリレー>

土屋 陸 (株)白銅

<1500m補/5000m>

伊藤 貴裕 (株)白銅

成年女子

◇黒沢 誠 佐久長聖高校(教)

<500m/1000m/2000mリレー>

北原 伊織 大東文化大学3年

<500m補/2000mリレー>

林 ひよな 大東文化大学2年

<1000m補/2000mリレー>

倉坪 佑衣 立教大学2年

<500m/2000mリレー>

大林こなみ 日本ハウスホテル&リゾート

<1500m/3000m/2000mリレー>

畠山 雪菜 高崎健康福祉大学3年

<1500m/3000m>

宮川 鈴佳 栗田病院

<1000m/1500m補/2000mリレー>

宮川 笑佳 日本体育大学2年

<3000m補>

賀来 春音 大東文化大学2年

少年男子

◇畠山 薫 市立長野高校(教)

<500m/1000m/2000mリレー>

渡邊 公雅 小海高校1年

<500m/1000m補/2000mリレー>

佐藤 来輝 市立長野高校2年

<500m補/2000mリレー>

村井 奏音 佐久長聖高校3年

<1500m/5000m/2000mリレー>

山中 壇 市立長野高校3年

<1500m補/10000m補>

山口 千尋 長野俊英高校2年

<1000m/1500m/2000mリレー>

佐々木泰雅 小海高校2年

<5000m補/10000m>

戸田 昊生 諏訪清陵高校2年

<5000m/10000m/2000mリレー>

新海 大輝 JSFエリートアカデミー3年

少年女子

◇市川 英彦 佐久平総合技術高校(教)

<500m/1000m補/2000mリレー>

新海彩花里 JSFエリートアカデミー1年

<500m補/2000mリレー>

西尾 友里 JSFエリートアカデミー2年

<500m/1000m/2000mリレー>

村山 夏愛 東京都市大学塩尻高校2年

<2000mリレー>

浦田 心咲 伊那西高校2年

<1000m/1500m/2000mリレー>

関口 綾野 小海高校2年

<1500m/3000m/2000mリレー>

三井こころ 東京都市大学塩尻高校2年

<1500m補/3000m補>

野明 芽衣 諏訪清陵高校3年

<3000m>

由井 心壁 小海高校2年

トレーナー(2名)

黒岩 和弥 社会医療法人財団慈泉会 相澤病院

篠原 泰洋 Y2BASE東京

サポート員・支援コーチ(4名)

井出 敏彦 長野高校(教)

大澤 航 小海高校(教)

花岡 瑚徒 岡谷南高校

小松 清規 (株)やまびこスケートの森

2 ショートトラック

監督2名 選手13名(男6名 女7名)計15名

成年男子

◇菊池 哲平 帝産クラブ

<500m/1000mリレー>

菊池 耕太 社会医療法人恵仁会

<500m/1000mリレー>

小池 克典 (株)全日空商事

<500m補/1000m補/リレー>

吉澤 柊威 大東文化大学4年

<リレー>

三井 翔太 高崎健康福祉大学2年

<リレー>

大門 飛路 角上魚類ホールディングス

成年女子

<500m/1000mリレー>

宮下 心夢 山梨学院大学2年

<500m/1000mリレー>

吉澤 葵 早稲田大学1年

<500m補/1000m補/リレー>

神長 汐音 (株)全日空商事

<リレー>

近藤 杏菜 八戸学院大学4年

<リレー>

北原 雅 (株)セイコーエプソン

少年

◇岩下 聖 栄中学校(教)

少年男子

<500m/1000m>

太田 正清 岡谷南高校3年

少年女子

<500m/1000m>

吉澤 舞 地球環境高校1年

<500m/1000m>

仲野 六花 小海高校3年

トレーナー(1名)

向角 真伊 社会医療法人財団慈泉会 相澤病院

サポート員・支援コーチ(1名)

大門 飛路 角上魚類ホールディングス

3 アイスホッケー

監督1名 選手16名(男16名)計17名

成年男子

◇行田 竜一 軽井沢町役場

青木優之介 長野市役所

中澤 走飛 (株)本久

小池 丈二 (株)三菱地所

滝本 瑛士 (株)精工イー・エス・ビー機械

丸山 詳真 長野市役所

吉山 碧 (株)セルム

山崎 創也 (株)守谷商会

共田 野安 早稲田大学4年

大和 純也 東洋大学4年

亀田 翔 明治大学3年

亀田 翼 明治大学3年

高見澤英翔 早稲田大学2年

榎本 康生 早稲田大学2年

佐藤 佑安 法政大学1年

大工原滯央 明治大学1年

杉本 大洋 早稲田大学1年

トレーナー(1名)

秋山 純也 (株)BCF

サポート員・支援コーチ(2名)

青木 誠 軽井沢町役場

中澤 勝 自営業



速報

ミラノ・コルティナ2026冬季オリンピック出場

[長野県関係選手]

(令和8年1月21日現在)(敬称略)

競技名	種 目	選 手 名	所 属 等	出 身 地	備 考
スケート	スピードスケート	倉坪 克拓	長野県競技力向上対策本部	長野市	初出場
	スピードスケート	佐々木翔夢	明治大学	南牧村	初出場
	スピードスケート	野明 花菜	立教大学	下諏訪町	初出場
	スピードスケート	山田 梨央	直富商事㈱	諏訪市	初出場
アイスホッケー	アイスホッケー	秋本 なな	道路建設ペリグリノ	軽井沢町	初出場
スキー	フリースタイル	小林 竜登	森川建設㈱	飯山市	初出場
	フリースタイル	近藤 心音	オリエンタルパイオ	白馬村	2大会連続出場 SWAN5期生
	クロスカントリー	馬場 直人	中野士建SC	山ノ内町	2大会連続出場
	ジャンプ	丸山 希	北野建設SC	野沢温泉村	初出場
	ノルディック複合	山本 涼太	長野日野自動車SC	木島平村	2大会連続出場
	ノルディック複合	渡部 暁斗	北野建設SC	白馬村	6大会連続出場
リュージュ	リュージュ	小林 誠也	中外印刷㈱	飯綱町	2大会連続出場 SWAN5期生

会議報告

第2回 体力向上・スポーツ医科学専門委員会

令和7年度第2回体力向上・スポーツ医科学専門委員会が11月27日(木)県スポーツ会館で行われました。

冒頭、加藤委員長から、わたSHIGA輝く国スポ2025(滋賀国スポ)の医科学サポートが滞りなく行われたこと、勝負を左右する「諦めない気持ち」は、医科学的な側面から環境を整えることから生まれてくるもののご挨拶がありました。

報告事項では、第46回北信越国民スポーツ大会並びに第79回国民スポーツ大会における総合成績の報告がありました。特に第47回北信越国民スポーツ大会(長野県開催)に向けた暑熱対策に関し、今後使用する屋内施設の冷房設備の設置状況についても話題が及びました。

また、昨年度から新たな取組として実施されている郡市スポーツ(体育)協会、スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブを対象としたスポーツサポート者派遣事業やマルチサポート事業の実施状況の報告もありました。

協議事項では、令和8年度日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー養成講習会受講者推薦評価方法について確認がなされました。

令和5年度から国民スポーツ大会の参加については、参加申込前のアンチ・ドーピング教育の受講が義務付けられています。第80回大会からはドーピング教育の受講後に、短時間で実施可能な確認テストが新たに追加されています。本委員会では、今後も信州やまなみ国スポに向けた競技力向上の環境整備として、競技団体や県関係機関と連携を図りながら、医科学サポートを進めていきます。

令和7年度 競技団体理事長・競技力向上専門委員合同会議

12月23日、県スポーツ会館において競技団体理事長・競技力向上専門委員合同会議が行われ、第46回北信越国民スポーツ大会及び第79回国民スポーツ大会の成績、信州やまなみ国スポを3年後に控え、県スポーツ協会の取組について報告しました。

会議の中では、各競技団体から信州やまなみ国スポに向けた要望等も寄せられ、「チーム長野」として機運の高まりが感じられる機会でもありました。

県スポーツ協会では、長野県競技力向上基本計画の実現に向け、長野県競技力向上対策本部に協力し、基本計画の4つの柱に沿い、既存の事業を継続・拡充するほか、新たな取組にもチャレンジしていきます。

今後も競技団体と県関係各所の連携をより強固なものにし、一枚岩となって信州やまなみ国スポを迎えるべく、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。



▲信州やまなみ国スポ・全障スポニュース

長野県選手に👍注目!!
スポーツ専門員 第5弾

2025年度雇用


長野県競技力向上対策本部で雇用し、日々、競技の研鑽、競技の普及、ジュニア選手の指導等に励んでいるスポーツ専門員を紹介します。

彼らの卓越した技術と情熱は、「信州やまなみ国スポ」に向けて長野県を盛り上げてくれること間違いなし！彼らの加入が、長野県にどのような影響を与えるのか注目です!!

スポーツ専門員とは??

長野県競技力向上対策本部では、第82回国民スポーツ大会での天皇杯・皇后杯獲得と大会終了後も持続定着できる競技スポーツの振興を目指し、優れた競技力を有する者を「スポーツ専門員」として雇用。

スポーツ専門員は、日々のハードな練習や各種大会等への参加を通じて競技力の向上に専念するほか、配置された地域のジュニア選手への指導、体験会等を通じた競技の普及活動などもしています。

名 前	矢澤 亜季 (やざわ あき)	
競技・種目	カヌー スラローム・カヤック	
目 標	2028年信州やまなみ国スポ優勝、2028年ロス五輪出場	
出 身 地	長野県飯田市	
出身地自慢	自然豊かで空気が美味しい	
好きな食べ物	行きつけの焼肉屋さんのサガリ	
好きな色	ピンク	
趣 味	日本舞踊	
休日の過ごし方	愛犬と散歩	
小学生の時の将来の夢	パン屋さん	
競技成績	<ul style="list-style-type: none"> ・日本選手権大会 1位 ・世界選手権大会（オーストラリア）27位 ・令和7年度日本カヌースラローム選手権大会 1位 	


カヌースラローム競技の矢澤亜季です。

私は父と兄の影響で小学3年のときに地元、飯田市にある天竜川でカヌーを始めました。カヌーを始めて20年以上経ちますが、大自然に囲まれた天竜川で練習することが大好きです！



2028年に行われる信州やまなみ国スポのカヌースラロームの会場は天竜川です！地元の皆さんからの盛大な応援を力にして優勝したいと思っています。

応援よろしくお願いします。

名 前	古賀 穂 (こが みのる)	
競技・種目	バドミントン 男子シングルス	
目 標	ロス五輪優勝、信州やまなみ国スポ優勝	
出 身 地	福岡県	
出身地自慢	美味しいものがたくさんある	
好きな食べ物	すき焼き	
好きな色	青色	
座右の銘	苦勞を楽しみ困難と戯れる、そうすれば面白く生きられる	
趣 味	読書、スポーツ観戦	
休日の過ごし方	釣り、温泉巡り	
小学生の時の将来の夢	オリンピック選手	
競技成績	<ul style="list-style-type: none"> ・2025年日本ランキングサーキット大会 2位 ・YONEX Belgian International 2025 (ベルギー) 1位 ・シドモディインドインターナショナル2025 (インド) ベスト4 	



小中高大社会人と各カテゴリーで全国大会を優勝して、日本代表選手の経験もあります。これから長野を拠点に世界を舞台に優勝を目指していきますので、応援のほど、よろしくお願いいたします。



名 前	鈴木 未来乃 (すずき みらの)
競技・種目	クレ射撃・スキート 種目
目 標	信州やまなみ国スポで個人優勝、スキート団体メダル獲得、総合入賞
出 身 地	広島県因島
出身地自慢	はっさくゼリーが有名です！
好きな食べ物	りんご飴
好きな色	赤
座右の銘	少年よ、大志を抱け
趣 味	ゲーム (Nintendoスイッチ2がなかなか当たりません...)
休日の過ごし方	ずっとゲームしています
小学生の時の将来の夢	お花屋さん
競技成績	・夏季本部公式大会(青森国スポブレ大会) 1位 ・ジュニアオリンピックカップ大会 1位 ・第16回アジア射撃選手権大会 (カザフスタン) 15位



クレ射撃競技の鈴木未来乃です！よくイタリアで生まれたの？と言われるます。

クレ射撃は日本ではあまり馴染みのない競技だと思いますが、実銃を使うので、音や衝撃がすごく、見ていだけでも迫力を感じることが出来ます。ぜひ一度見にきてください！

第4回競技力向上カンファレンスが12月23日(火)、長野県スポーツ会館で開催されました。

冒頭に信州やまなみ国スポに向けた各競技の強化状況と今後の展望を共有しました。続いて、映像解析やフィジカル測定を活用した技術支援の紹介が行われ、現場でのトレーニング改善に向けた具体的な活用方法が示されました。また、競技団体からは強化の成果や工夫が報告され、他団体にも参考となる事例が多く共有されました。最後のグループディスカッションでは、来年からの躍進に向けて、強化が思うように進まず苦慮する声も出されましたが、同じ立場の団体同士で思いを共有しながら前向きに取り組もうとする意識が高まりました。締めくくりに、天皇杯・皇后杯獲得に向け、「長野県がんばるぞ！」の掛け声に合わせて、参加者全員で力強く拳を突き上げ、チーム長野で一体感をもって選手強化の歩みを加速させていこうと士気を高め合いました。

「長野県の代表選手を育てている指導者たちが熱く語った」
第4回競技力向上カンファレンス



《内容》 1 情報提供

- (1) 信州やまなみ国スポに向けた現在地の確認と見通し
- (2) 技術支援に関する企業紹介
 - ・㈱ダートフィッシュジャパン (映像分析)
 - ・㈱S-C A D E. (フィジカル測定)
- (3) 競技団体の強化事例紹介

2 グループディスカッション

令和7年度 企業訪問

～炭平コーポレーション株式会社様の取組～

当協会では、県のスポーツ振興と競技力向上のための環境整備施策の一つとして、国民スポーツ大会に出場予定の選手・監督等の所属を訪問しています。活動支援を依頼するとともに、強化の現状や練習環境などについてお聴きしています。

今回は令和7年6月10日に訪問した炭平コーポレーション株式会社様（長野市）の取組を紹介します。（内容は6月10日現在のものです。）



炭平コーポレーション株式会社様は今年度、2021年インターハイ・第98回（2025年）インカレ・第79回冬季国スポで優勝経験のあるノルディックスキー・クロスカントリーの笠原将選手（山ノ内町出身）を採用されました。これまでも会社としてスポーツ選手の支援はあったとのことですが、雇用は今回が初めてとのこと。2028年の信州やまなみ国民スポーツ大会までではなく、その先にある笠原選手の夢を、会社として全面サポートしていく予定とのこと。今後も仕事もしっかりしてくれる人材であれば、会社としても積極的に採用していきたいとお考えも聞かせていただきました。

笠原選手は平日5日間、業務と練習を半々で行っています。所属は炭平コーポレーション株式会社様ですが、練習拠点が木島平村であることと、笠原選手のこれまでの学びの強みを活かし、飯山市にある共栄生コン株式会社へ出向形式をとっているとのこと。生コンに関する仕事であれば、冬季により練習時間を確保しやすいという会社の計らいもあるようです。

第80回国民スポーツ大会冬季大会スキー競技会（クロスカントリー種目）は2月15日～17日まで青森県大鰐町にて開催されます。長野県選手団への応援をよろしくお願いします！



事業報告**令和7年度 指導者ミーティング**

12月6日、ホテル国際21（長野市）においてジュニア育成に向けた情報を発信し、指導における課題解決のための糸口を探る「指導者ミーティング」を開催しました。講師は2016年リオデジャネイロオリンピック200m平泳ぎの金メダリストで、現役引退後は、長野県東御市を拠点に水泳の普及活動に取り組んでおられる金藤理絵氏をお迎えし、「諦めない心～今の子供たちに必要なもの～」をテーマにご講演をいただきました。

オリンピックで金メダルを獲得されるまでの道のりや周囲との関わり、また、現在普及活動をされる中で感じておられる子どもへの向き合い方や「諦めない心」の育て方等、ご自身の豊富なご経験を踏まえ、お話しいただきました。

当日はオンラインでの参加を含め42名の方にご参加いただきました。参加者からは「社会や子ども、保護者が変化している中で、今後のスポーツ指導の在り方について考えるきっかけとなりました。」「『成長していくにつれて競技が楽しくなくなってくるのは、新たにできることが少なくなっていくから』という言葉が印象に残ります。新たな気づきとなりました。」「出し抜いて自分だけやるのではなく、底上げすれば結果的に向上するお話。自分の頭ではわかっていてもなかなか実践できずにいましたが、思い切って取り組んでみようと思いました。」などの感想が寄せられ、参加者各々が今後の活動に向けて展望を描くことができました。

世界の大舞台で戦い、確立された指導理念を基に子供たちに「思い」を伝え続けている講師の言葉に、背中を押された参加者も多かったことと思います。

**北信越ブロッククラブネットワークアクション2025**

北信越ブロッククラブネットワークアクション2025が11月20日（木）・21日（金）に、福井県の福井市にぎわい交流施設（ハピリンホール）で開催されました。

「5年後のクラブについて考えよう！」をテーマに、北信越各県の総合型クラブ関係者ら約80名（長野県10名）が参加し、講演会やグループワークを通じて、これからの総合型クラブに求められる役割や次代の人材確保・育成の在り方について考えました。

初日の共通プログラムでは、福井県鯖江市を拠点に若者が提案する地域活性化事業の企画支援などを行うNPO法人エル・コミュニティ代表の竹部美樹氏により、「次代の人材確保・育成について」と題し、基調講演がありました。

竹部氏は、人材の育成や新規事業の立上げに共通する考え方として「課題解決型から未来創造型への転換が必要」とし、「未来を自由に創造させることが人材・組織の成長につながる」と強調されました。また、「お金を稼ぐことが悪いという考えは全くの間違い」と話し、「税金に頼るのではなく、まずは収益を上げるという意識を持つことが大切」とアドバイスされました。



その後行われたグループワークでは、参加者が、まず将来（5年後）のクラブ像をイメージし、年度ごとの行動計画や課題を整理しました。その内容をグループ内で共有し、課題解決に向けた意見やアイデアを出し合いました。各グループからは「クラブの情報発信には、インフルエンサーの活用が効果的」「指定管理の受注が収益の安定につながっている」などの意見が出されました。

この他、スポーツ庁と日本スポーツ協会から、部活動改革や登録・認証制度について、最新の情報提供がありました。

部活動の地域展開において、総合型クラブへの期待が高まる一方で、クラブスタッフの人材育成・世代交代については、県内でも多くのクラブが抱える課題となっています。このクラブネットワークアクションでの議論が、こうした課題の解決に向けた糸口になるとともに、北信越ブロックの仲間との関連な交流が参加者にとって新たなエネルギーを補充する貴重な機会であったと感じます。

来年度は、令和8年11月19日（木）・20日（金）に富山市の富山県農協会館で開催される予定です。





SWAN

プロジェクト

Superb Winter Athlete NAGANO

17期生開講式&記念講演

11月22日(土)、長野市オリンピック記念アリーナ（エムウエーブ）にて、SWANプロジェクト17期生の開講式を行いました。式では、井澤克行副実行委員長（長野県スポーツ振興課長）から認定証とSWANバッジが授与され、お祝いの言葉が贈られました。

続いて、公益財団法人日本スケート連盟理事の菊池毅彦様から激励のごあいさつをいただき、その後、17期生が夢に向けた決意表明を行いました。最後に、現役メンバーを代表して16期生の加藤蒼さんから、17期生へ向けた温かい応援の言葉が贈られました。

記念講演



開講式後の記念講演では、平昌オ

リンピック・スピードスケート女子チームパシュート金メダリストの菊池彩花様から、「未来を描こう」と題したお話をいただきました。会場では、平昌オリンピックの金メダルが回され、手に取ったり首にかけたりする貴重な体験もありました。

17期生の皆さんが、この日の感動を胸に夢へ向かって羽ばたくことを期待しています。



SWANプロジェクト17期生開講式



種目別プログラム

アルペンミニキャンプ

11月2日(日)に野沢温泉村の野沢温泉スポーツ公園サマーゲレンデ・オリンピックスポーツパークにおいて、SWANプロジェクトアルペン競技のミニキャンプを行いました。シーズンを前に今まで取り組んできた陸上トレーニングやフィジカルトレーニングが、競技に活かせるかを確認し、技術の向上を図りました。メンバー同士、切磋琢磨し、実りの多いトレーニングとなりました。

（参加者は、メンバー4名、指導者2名、スタッフ2名で日帰りでの開催。）



スポーツ少年団

nagano
junior sports
clubs association

エンジョイ！ バレーボールフェスティバル2025

令和7年12月25日(木)~27日(土)に京都市の「島津アリーナ京都」を主会場に女子48チーム男子10チームが参加して開催されました。

長野県女子代表として今回3回目の出場となる豊科JVC（安曇野市）は、3チームで行われた予選リーグ1日目・2日目とも1勝1敗となり、目標とした予選リーグ突破は叶いませんでしたが、力の限り戦い抜きました。

新名称により「ワクワク感」や競技も交流も楽しむ「エンジョイ！」の機会の提供として開会式前に、指導者、団員それぞれのミーティングがあり、団員ミーティングでは「カッコいいプレイヤーになろう！」の題で益子直美日本スポーツ少年団本部長の講演がありました。また、2日目の試合後には、両チームの選手同士が健闘を称え合い、親睦を深める取組として相手チームの「よかったところ」「カッコいいなと思ったところ」を発表し合うアフターマッチファンクションが行われました。

豊科JVCチームは開会式で、リンゴとワサビの被り物を付けて自己アピール紹介をするなど、試合ともども大いに楽しい大会となりました。



加盟団体の紹介

長野県バドミントン協会

長野県バドミントン協会は1948年6月10日（昭和23年）に設立され、2026年に創立78年を迎えます。2024年度終了時点の登録会員数は、一般664人、学生63人、高校生3,140人、中学生798人、小学生380人の計5,045人となっています。この数字はコロナ禍を除けば概ね横ばいで推移しています。一方で、県協会に登録せず競技を楽しむプレーヤーも相当数存在し、その実数は把握しできていません。少子化が進む中で競技人口を維持できている背景には、各市町村大会の充実や高校部活動の存在が大きく寄与していると考えています。

県協会の主な事業は、大会運営、強化事業、普及事業の三本柱です。大会運営では、統一したルールのもと、公平な組合せと円滑な競技進行に努めています。県内大会に加え、輪番制によ

るブロック大会の運営や全国大会の誘致にも積極的に取り組んでいます。

強化事業では、やまなみ国スポに向けた代表選手の強化練習会を定期的開催し、小・中学生のターゲット世代では全国大会での入賞という成果も上がっています。また、スポーツ専門員制度を活用し、一般男子では全国上位ランクの選手を招聘することで、やまなみ国スポでの上位入賞を狙える体制が整いつつあります。

普及事業では、審判員養成を積極的に進め、ルールの普及と安定した大会運営を図っています。指導員養成にも力を入れており、特にジュニアクラブチーム向けの指導者育成を強化したいと考えています。しかし、資格取得後に更新や研鑽の機会が少ない現状もあり、残念ながらコンプライアンスに反する指導が見られることも事実です。

指導者への定期的なコンプライアンス研修は不可欠であると認識しています。また、普及を見据えた大会運営として、初心者でも参加しやすい大会は競技人口の維持に重要であり、強化事業と並行して注力していきたいと考えています。

長野県バドミントン協会としては、現在の事業においてルールの統一や報告体制の徹底を図りつつ、ガバナンスを強化し、透明性の高い運営を目指してまいります。また、各種事業において役員・会員ともにコンプライアンスを徹底し、健全な協会運営に努めていきます。



公益財団法人 長野県スポーツ協会

パートナー企業・団体の皆様

PLATINUM PARTNERS プラチナパートナー

北野建設



八十二長野銀行

HOKIO

GOLD PARTNERS ゴールドパートナー



長野信用金庫



MANATEC

ライオンズクラブ国際協会
334-E地区

SILVER PARTNERS シルバーパートナー

 NIKKI Fron
Since 1896


一般社団法人

長野県消防設備協会

C H O I N
長野印刷商工株式会社